



大キレット縦走

2014.9.24～26



行程

9月24日

- 05:00 上高地発
- 13:20 ヒュッテ大槍
- 15:00 槍ヶ岳山荘



- ### 9月25日
- 低気圧通過のため槍ヶ岳山荘に停滞
小雨になった夕方に槍ヶ岳に登頂

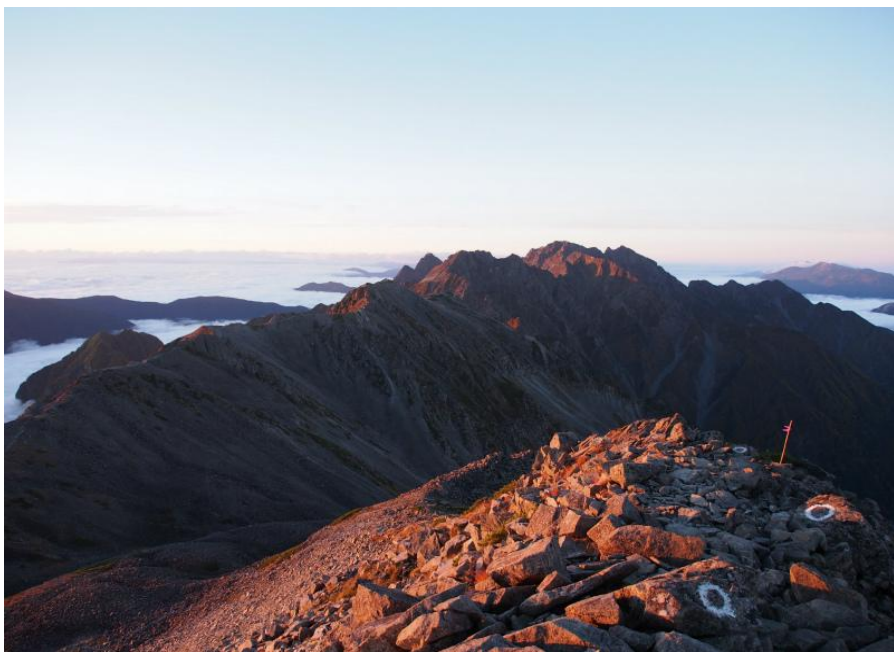


9月26日

- 04:00 起床
- 04:30 小屋発
- 05:00 大喰岳
- 05:40 中岳
- 06:40 南岳
- 07:00 大キレット取り付き
- 08:30 長谷川ピーク
- 09:30 飛騨泣き
- 10:00 北穂高小屋
- 12:30 涸沢ヒュッテ
- 14:40 横尾山荘
- 17:00 上高地



槍ヶ岳山荘～南岳



ヘルメットとヘッドランプを点けて小屋を出発。丁度中岳で日の出を迎えました。赤く染まる槍ヶ岳、穂高連邦。そして周りには雲海が広がっています。南岳までの気持ちのいい稜線歩きを満喫しました。昨日の雨が嘘のように、空は晴れ渡り、風もほとんどありません。また人も少なく、絶好のコンディションです。

大キレットのルート



今回のルートは南岳→北穂高岳。地図上のコースタイムは3時間半。

<ルートの特徴>

長谷川ピークまでは目立った危険箇所はありません。飛騨泣きは高度感がありますが、鎖等で保護されているため慎重に進めば問題ありません。北穂の取付きあたりから浮石、砂利が多く、落石の恐れが大きいので注意！

大キレット(最低コルまで)



南岳からルートでは、まず最低コルを目指し高度を下げていきます(約300m)。途中クサリや梯子が設置されている部分もあります。多少高度感はありますが、危険箇所はありません。カラフルな格好をした私たちも、初秋の山の風景に溶け込んでいますね。

大キレット(最低コル～飛驒泣き)



ナイフリッジ状のところもあります。慎重に&楽しみながら進みます。



後ろを振り返ると南岳がどーんと立っています。穂高に負けずかっこいい！
この日は空気も澄んでいて、富士山、白馬岳なども見えました。



最低コル→長谷川ピークと進むと、だんだんと左右が切れ落ちたところが出てきます。
この辺りになると休憩するスペースが少なくなってきます。

大キレット(飛驒泣き)



ここが難所「飛驒泣き」です。難易度は気象状況や人の多さ等により変わるので一概には言えませんが、槍の穂先くらいでしょうか。手掛かりは十分あるので、手もしっかり使って登れば問題ないです。



前日の悪天候が幸いし、この日大キレットを通過する人は少なかったです。普段ならこんな写真を撮るチャンスも、なかなかないですね。景色が素晴らしく、また緊張もしてるので、キレット通過はあっという間に感じます！

大キレット(飛驒泣き)



北穂の登りはザレているため、落石を受けない&起こさないように十分気を付けて登る必要があります。キレット通過で一番気を使う所かもしれません。この日は人が少なく助かりました。

岩場を北穂小屋まで一気に登ります。小屋まであと少し。



槍ヶ岳が再び見えてきました。やはりアルプスはスケールが大きいです！

北穂高岳



北穂は展望が良くて有名ですが、この日は抜群の眺めです！
この景色を見ながらのカップラーメンはたまらないです！！
(この日唯一の大休憩。といっても20分程度。)



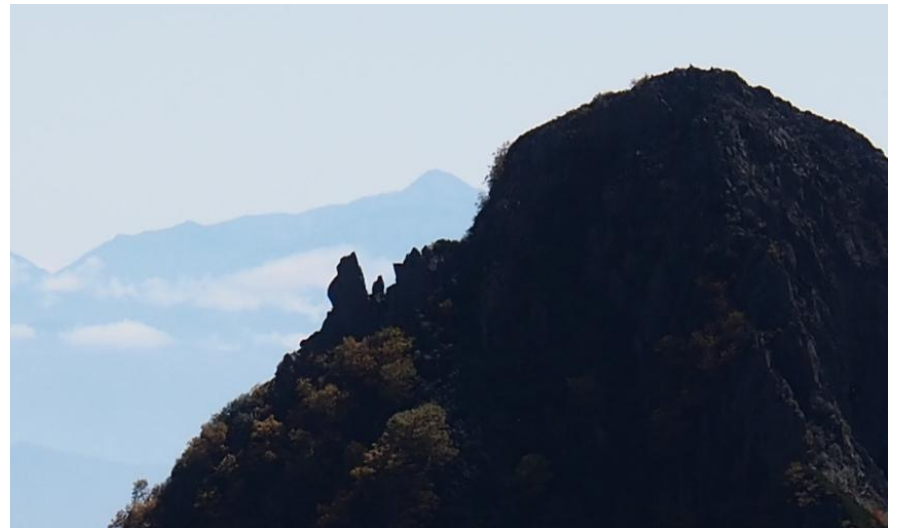
北穂高岳～涸沢



紅葉真っ盛りの涸沢。
よく、「絵画のようだ」と言われますが、実物を見るとスケールが違います。
この景色は絶対一度見ていただきたいです。疲れも吹き飛びます！

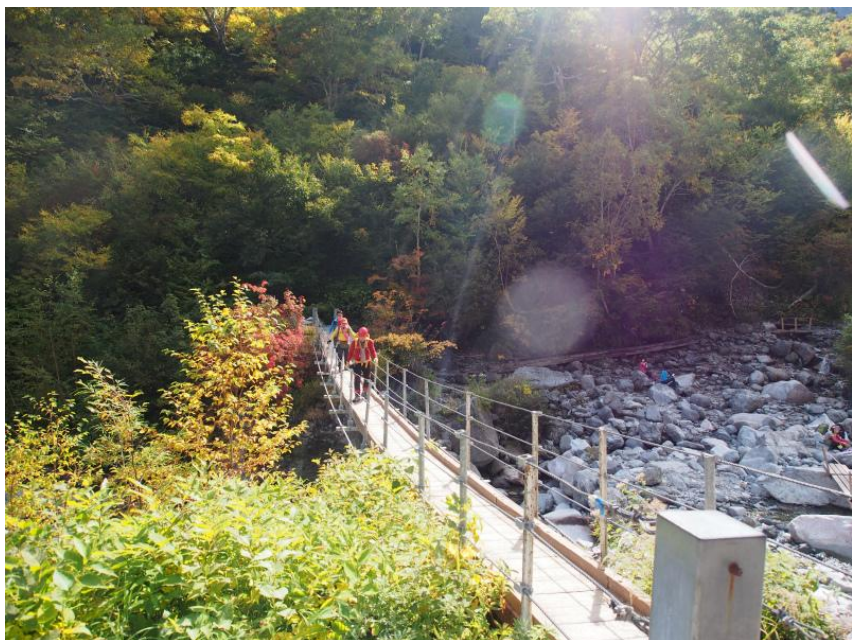


奥穂高岳！来年の遠征はあそこかな！



前穂にあるトロロ岩。右隣に小さいトロロもあります。
子供にしか見えないトロロも、穂高に来れば見られます！？

涸沢～上高地



涸沢から横尾そして上高地までは、少しずつ下りながらの単調な道が続きます。さすがに朝から長時間歩いているので、だんだん足にも疲れが出てきますね。夕暮れが迫る中、穂高連邦、梓川を見ながら、気力を振り絞り歩きます。

今回は3チームに分かれての登山でしたが、不思議と上高地に戻る時間はほぼ一緒でした。どのチームも絶景に見とれていたとのこと。

上高地到着は出発から12時間後でした(台風通過により1日停滞したため、最終日は一気に2日分近くを歩く工程となりました)。

終始天候に恵まれ、また楽しみながら大キレットを縦走でき、大変充実した山行となりました。

皆様お疲れ様でした！また来年も新しい目標に向かってチャレンジしたいですね！

大キレットに行く際のおすすめ装備をいくつか・

- ・ヘルメット・ ・おすすめではなく必須ですね。カッコいいモデルが各社から出ています。
- ・ウエア類・ ・ ・通常の夏山と同じ。タイトなシルエットが歩きやすいです。
運動量が多いので速乾性のものを。(クラフトの下着やパワードライを使ったウエア等)
紫外線が強いので、薄手の長袖か、半袖+アームカバーで。
- ・プラティパス・ ・なかなかゆっくり休める所がないです。歩きながら水分を補給できるので助かります。
また万一本ボトルを落とすと取りに行けません。
- ・C3fitタイツ・ ・北穂高からの下りは結構足に負担がかかります。
- ・ブーツ・ ・La sportiva ならTrango cube やTrangoS等。Scarpaならトリオレ等。
- ・バックパック・ ・クライミング向けのシンプルなもの。グレゴリーのアルピニスト、マムートのトリオン系。



POLARTEC POWER DRY



写真 Mammut HPより